

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26 年 12 月 9 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100116		
法人名	社会福祉法人 広島光明学園		
事業所名	グループホーム光明牛田新町		
所在地	広島市東区牛田新町3丁目20-15 (電話) 082-222-3223		
自己評価作成日	平成26年9月2日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成26年9月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 保育園が事業所と同じ敷地内にあり入居者の方と園児とのふれあいの機会を設けている。</li><li>2. 隣接するグループホーム、保育園とともに交流行事を実施し入居者の方に楽しんでいただくよう努めている。</li><li>3. 保育園や地域の行事に参加し関わりを深めていくよう努めている。</li><li>4. 入居者の方の状態が厳しくなっている状況ではあるが行事を通し地域とのつながりを大切に社会の一員として生活をしていただけるよう努めている。</li><li>5. 共用型のデイサービスを開設していることにより入居者の方とデイサービスの方との交流によりお互いがメンタル的に刺激になるよう努めている。</li></ol>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム光明牛田新町（以下、ホーム）は、乳幼児から高齢者介護まで地域の総合福祉を担う法人を母体とし、法人との連携を図りながら運営されています。ホーム建物の窓からは四季を感じられる樹々が眺められ、敷地内に系列事業所と保育園があります。保育園児とは四季折々の行事を一緒に楽しんでいます。今年度から保育園と合同で誕生日会を実施し、入居者の喜びとなっています。ホームでは、職員個々のアイデアや得意分野をサービスに活かしながら、入居者の個性を尊重したケアに努められています。</p> <p>また、緊急時に備えて提携医療機関や他の医療機関と連携し医療面での安心を提供されています。</p> <p>さらに、地域の介護110番を引き受け、民生委員・児童委員と協力し合いながら高齢者の安否確認、困りごとなどの相談に応じられています。</p> <p>地域行事にも積極的に参加するなど、地域の一員としての役割を果たす努力をされています。</p>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(1ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人全体の理念三寶一如とグループホームの理念を共有し地域密着をめざし行事等を通じて実践につなげている。	理念は、玄関、各フロアに掲示し、ミーティングで唱和されています。職員全体で理念を共有し、自分が入りたいホームをめざしながら優しい介護、家庭的なケアの実践に努めておられます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会の季節行事に参加させていただいたり、回覧板等で地域のことを知らせてくださったり、何かあったときは声をかけていただいている。掃除等にも参加させていただいている。	施設内で開催する「地域ふれあいの集い」には、多くの地域住民の参加があり交流を図っておられます。ホームを介護110番の窓口として設置し、民生委員・児童委員と連携しながら地域の高齢者の見守りの拠点として努力されています。また、まちのみんなが協力して自主的に動くプロジェクト「牛田三学区活性化フォーラム」にも積極的に参画し、地域の一員として協力されています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事、法人行事の参加することで地域の人々との交流を通して直接ふれあっていたきまた事業所に所属する認知症サポーターが事例を踏まえ理解や支援の方法などについて交流を深めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長、ご家族、民生委員、地域包括の職員などの意見、助言を取り入れサービスの向上に努めている。	会議を年6回開催し、区の生活課担当者や交番の地域警察官の参加もあります。今年度は、地域の他事業所と合同で会議を開催されています。今後も合同で定期的に会議を行い、相互交流される予定です。会議では、「牛田三学区活性化フォーラム」の報告も行われ、ホームの活動報告と併せて地域情報を共有されています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	特に防災関係において避難訓練等で消防署との連携や指導を受け、利用者様の安全確保に努めている。また牛田地区の交番の警察官の方を招き運営推進会議に参加していただいたこともある。	困難事例について、区担当課から相談を受けることもあり、日頃から協力されています。ホームにはオレンジアドバイザーの資格を持つ職員が2人在籍し、地域包括支援センターの依頼により、寸劇など講師として協力されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関には施錠はしていないが自動ドアに工夫を施し、モニターによる見守りができるように、工夫をしている。各階のベランダに出る扉は施錠はあるが、鍵を掛けることなく利用者様が自由に入出りできるようにしている。施設内、外研修を実施し身体拘束の研修で得た情報を職員全体で共有している。</p>	<p>身体拘束排除の理念を持たれています。声の大きさやトーン、言葉による制止は行わないことを徹底されています。また、不適切な言葉かけ等があれば、管理者が個別に指導されています。自由に入出りできる広いベランダに椅子を設置し、気分転換を図れるよう工夫されています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設内研修や担当者会議、マニュアルを整備し職員が学び、利用者様の人生、人生観を尊重するように努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職場の研修で学び、実際にご家族の方が成年後見制度の手続きをされた時に協力させていただいた経験があり、今後も要望により支援していくようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に重要事項の説明をさせていただき、理解と納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族が来園された際は声がけをさせていただき利用者様に対する気づきや要望などをお聞きしてプラン等に反映させている。また運営推進会議においても家族等の意見、要望を外部の方にも聞いていただき運営に反映させている。</p>	<p>各ユニットの入口に意見箱が設置されています。年1回、家族会を開催し、意見を聞かれています。毎月の請求書と一緒に入居者の生活状況を報告し、家族にホームでの暮らしぶりを知ってもらうよう努力されています。意見や要望は運営や介護計画に反映されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議、アンケート、ケアプラン、利用者様の状況表、介護内容チェック表等を作成し反映させている。状況に応じて内容の変更等を実施している。</p>	<p>環境、行事、事故防止、記録に関する委員会を設置し、定期的に話し合いをされています。職員の得意分野を活かし、意見や提案を運営に反映する仕組みがあります。管理者は、日頃から職員とコミュニケーションを図り意見を聞かれています。また、階層別に「職員自己評価票」を実施し、個別に面談されています。管理者は、職員と一緒にケアの振り返りを行いながら、職員が働きやすいようサポートされています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>希望休をシフトに反映させ、業務に対してストレスを溜めないようかつ、業務に対して向上心を持っていけるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>個別面接を実施し職員個々の得手不得手を把握し、指導、アドバイスを実施するよう努めている。職員のユニット化を実施しこちらのユニットが良いか判断し配置するなど働きながら育成することを進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>施設外研修に参加させていただき、他事業所の現場における意見交換を参考にしサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>基本情報を理解し、アセスメント、施設内の担当者会議を通して少しずつ距離感を縮めていき安心感のある居場所であるように働きかけに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	見学や契約の際にご家族の立場を理解し、悲しみ、苦しみ、悩みを共有するように努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	利用者様にもし何かあった場合を想定して医療機関や当法人の事業所との連携を密にするよう努めている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	利用者様の状態が厳しくなっている状況の中介助に苦慮する面もあるが介護内容チェック表を作成しできることを見つけご本人の喜びにつなげ暮らしを共にする関係を築くようにしている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	施設を自宅としてとらえ、ご家族が出入りを遠慮されないよう努めている。ご一緒にお茶を飲んでいただいたりご家族の方にも楽しんでいただけるよう努め共に支えていく関係を築くようにしている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。</p>	法人行事、施設行事を通じて利用者様のご家族、友人知人、地域の方々にも来園していただけるように努めている。	家族、友人、知人の訪問があります。家族の協力を得て、行きつけの美容院や墓参りなどの外出、外泊を支援されています。職員が入居者と一緒に思い出の場所へドライブすることもあります。	
		○利用者同士の関係の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共有スペースで少数で関わっていただき、隣近所のような関係を大切にしていこうに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	行事などを通じて、常に関わりを大切にしてい、相談や支援に努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	何かあれば、担当者会議、施設内会議を実施し検討している。3ヶ月ごとの利用者状況表の変更の有無も実施し検討している。	散歩時や入浴時などに個別でコミュニケーションを図り、新たな思いや意向の把握に努めておられます。意思表示が困難な入居者には、表情や様子を見ながら把握に努めておられます。入居者が何気なく発した言葉や喜ぶ様子をプチミーティングや申し送りノートを活用し、職員全体で共有しながらケアに反映されています。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者様との会話やご家族からの情報を職員で共有するとともに、生活環境、生活歴の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎月の現状報告書の作成をすることによって利用者様の抱える問題などを分析し現状の把握に努めている。		
		○チームでつくる介護計画とモニタリング		入居者ごとに担当制を設けておられます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	困難な場合においてもあきらめずに実施することからはじめていき、利用者様に応じた対応を発見していき、プランに反映させている。職員配置のユニット化により話し合いの時間をタイムリーに持てるよう努めプランを作成している。	介護計画を基に「介護内容チェック表」の様式を独自に工夫し、毎日、職員がモニタリングを行っておられます。ケアマネジャーは、チェック表を基に総合評価されています。介護計画は、年2回を基本に、変化があればその都度見直されています。歌を歌う、散歩をする、廊下を2～3m歩くなど細かく計画に盛り込み、入居者、家族の希望を毎日の生活の中で実現できるよう努力されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録の他、担当者会議、施設内会議、ヒヤリハットでの情報を共有し、現状のサービス内容の見直しを実施している。できることを介護内容チェック表にしてできないことの把握に努め、介護計画の見直しに反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご家族との連携や会話を大切にし、職員主導ではなく一緒に支えあっているように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	隣接する保育園の園児さんとの触れ合いや行事に参加することにより、生活のメリハリを持っていただき楽しく生活を送っていただくように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	利用者様が入所されるまで行かれていた病院や地域の主治医の週1回の往診、電話連絡等により、充実した医療の支援に努めている。	多くの入居者が協力医療機関をかかりつけ医とし、月1回の往診があります。また、週1回、歯科医の往診があります。体調がすぐれない時や発熱時はその都度受診されています。専門科のかかりつけ医への受診は、家族対応を基本とされています。面会時や毎月の現状報告書で医療に関する情報を家族に伝えておられます。	
		○看護職員との協働			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	健康チェックの他、身体状況について把握し気づきなどを伝えて、対応については看護師の指示のもと対応し、個々の利用者様に合わせるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の主治医と病院との連携をご家族と協議し、万が一に備えて関係作りを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療分野以外は、当施設において出来る限りの支援を検討し、医療行為が必要になった場合には入院先または他の選択をご家族、地域関係者とともに取り組んでいる。	これまで看取り、ターミナルケアの経験はありません。入居契約時にホームでできることを説明し、重度化した場合は、その都度家族と方針を話し合われます。可能な限りホームで支援され、医療行為を必要とする場合は医療機関と連携しながら対応されます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	夜間帯の急変を想定し、当施設だけでなく隣接する施設職員との連携を取れるよう訓練している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	隣接する保育園、グループホームとも共同で月1回の避難訓練を実施し常日頃から危機管理を心かけている。夜間の避難訓練も年3回実施している。	避難訓練は入居者も参加されます。今年度、土砂災害避難訓練実施を計画されています。運営推進会議で、地域に災害時の協力と避難場所として提供の用意があることを伝えられています。民生委員・児童委員の協力を得て、両隣の会社へ災害時に救援の協力を依頼されています。また、地元消防団からは「何かあれば協力する」との言葉をもらい、連携を持つきっかけと考えられています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言葉遣い、声掛けのしかたはもとより、その際の表情も大切にしている。	法人研修を実施されています。名前を「さん」付けて呼ぶことを基本とし、一人ひとりの性格に合わせて下の名前で呼ばれることもあります。トイレ、入浴時はさりげない対応を心がけ、希望があれば同性介助も可能です。個人情報の管理には注意を払い取り扱われています。広報誌に写真を掲載する際は、家族の同意を得ておられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人からの訴えがあれば否定せずできるように対応、またはご家族からの間接的要望を聞き、自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のペースより、行事等で時間的な問題により事業所側のペースになりがちであるが参加、不参加は利用者様の希望に沿って個々に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	普段は利用者様の好み等もあり任せている。行事で外出する場合はその行事に合わせた身だしなみ、整容を実施している。ご家族との外出においてはご家族様好みの対応をしている。ご家族様が外出の服装等を持参されることもあり、おしゃれができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	徐々に出来る事が少なくなっている状況である中、食事の準備、片付けにおいては出来る範囲で手伝いをしている。	朝食と日曜日は職員の手作りです。昼食、夕食は建物にある厨房で調理され、保育園と同じ献立です。盛りつけをホームでされています。おやつレクリエーションを定期的に行ったり、園児と合同の遠足で弁当を食べたり、家族の協力を得て外食するなど、食べるのが楽しみの一つとなるよう工夫されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	給食室から提供されることによりカロリー、バランスについては管理されている。水分量についてはひとりひとり、職員が把握し少ない方には摂取して頂くように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	訪問歯科、看護師と連携し口腔ケアを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	オムツにたよらないように必要な方には、時間を決めてトイレ誘導を行なうなどトイレでの排泄、排泄の自立に向けての支援を行っている。	トイレは3か所設置され、車椅子対応可能です。ほとんどの入居者がパッドとリハビリパンツを使用し、現在オムツ使用の入居者はおられません。排泄チェック表を活用し、その日その時の状態に合わせてトイレ誘導されています。夜間のみポータブルトイレを使用する入居者もおられます。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	自然なお通じができるよう、毎日乳製品の摂取や、運動をして頂くよう取り組んでいる。テレビ体操の実施や個別対応による運動を行い予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	事業所側のペースになりがちではあるが時間的な希望等を考慮し極力、利用者様のペースに合わせている。看護師の助言が必要な方は看護師の指示などで入浴を行い個々に応じた入浴支援をしている。	浴室や脱衣室に、冷暖房が完備されています。週2回の入浴を基本に、1対1の見守り介助浴が行われています。職員は、マッサージをしながら血行促進に繋げるなど、リラックスして入浴が楽しめるよう工夫されています。	
		○安眠や休息の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様のペースで就寝していただいている。昼夜逆転にならないよう、日中は無理の無いよう運動やレクリエーションを実施し、夜間安眠できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬マニュアルに従い確認を徹底し、看護師と連携をとりつつ服薬事故の無いよう努め、利用者様の変化にも注意するよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	レクリエーションを実施することで集団での楽しみが個人の楽しみにつながっている。利用者様個人の楽しみも取り入れていく支援も必要性もあり個別の対応などの支援も行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	施設でイベント企画を立て外出できるように努めている。また隣接する保育園の園児さんとの交流も増え外出する機会が増えている。外出の際にはご家族様の協力も得て支援している。	年間行事計画があります。町内会の運動会やおおずき祭りなどの地域行事、法人行事に外出されています。敷地内の保育園と合同行事も多く計画され、園児が訪問したり入居者が出向いたりするなど、交流が楽しみの一つとなっています。また、近くの寺へ個別に出かけ、気分転換を図る入居者もおられます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	原則、金銭に関してはご家族が管理されている。		
		○電話や手紙の支援	利用者様自身の希望と、施設は市営所		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	利用者様自身の要望があつた際は事業所の電話を利用していただいたりして支援している。携帯電話を所持されている利用者の方もいっしょに、見守りの中支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者様と職員とで季節を感じていただける物を作成し廊下、入口等に展示を実施している。所々に花を飾ったり工夫している。	共用空間に入居者と職員が一緒に作った季節の作品が飾られています。リビングは模様替えや配席替えで雰囲気を変え、居心地良く過ごせるよう工夫されています。入居者は、廊下に設置されたソファで寛いだり、訪問者と談笑されたりしています。ベランダに洗濯物が干され、家庭的な生活感が伺えます。また、園庭で遊ぶ園児の姿や声に癒される環境です。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファ、テーブルの配置を考慮しながらつるげる空間作りを工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様の協力を得て、使い慣れたものや、プレゼント、花などを置き安全に考慮しながら居心地の良い居室作りをしている。	居室の入口に表札が掛けられ、ベッド、エアコンが備え付けとなっています。入居者は使い慣れた布団や家具を持ち込まれています。また、テレビやカセットラジオ、思い出の品など好みの物を持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全確保に努め、必要な箇所は養生をしたりしながら、行動の制限をしないよう努めるように工夫している。		

V アウトカム項目(1ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(2ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人全体の理念三宝一如とグループホームの理念を共有し地域密着をめざし行事等を通じて実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会の季節行事に参加させていただいたり、回覧板等で地域のことを知らせてくださったり、何かあったときは声をかけていただいている。掃除等にも参加させていただいている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事、法人行事の参加することで地域の人々との交流を通して直接ふれあっていたきまた事業所に所属する認知症サポーターが事例を踏まえ理解や支援の方法などについて交流を深めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長、ご家族、民生委員、地域包括の職員などの意見、助言を取り入れサービスの向上に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	特に防災関係において避難訓練等で消防署との連携や指導を受け、利用者様の安全確保に努めている。また牛田地区の交番の警察官の方を招き運営推進会議に参加していただいたこともある。		
		○身体拘束をしないケアの実践	玄関には施錠はしていなが自動ドアに工		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	天を施し、モニターによる見守りができるように、工夫をしている。各階のベランダに出る扉は施錠はあるが、鍵を掛けることなく利用者が自由に出入りできるようにしている。施設内、外研修を実施し身体拘束の研修で得た情報を職員全体で共有している。		
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内研修や担当者会議、マニュアルを整備し職員が学び、利用者様の人生、人生観を尊重するように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職場の研修で学び、実際にご家族の方が成年後見制度の手続きをされた時に協力させていただいた経験があり、今後も要望により支援していくようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に重要事項の説明をさせていただき、理解と納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族が来園された際は声がけをさせていただき利用者様に対しての気づきや要望などをお聞きしてプラン等に反映させている。また運営推進会議においても家族等の意見、要望を外部の方にも聞いていただき運営に反映させている。		
		○運営に関する職員意見の反映			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議、アンケート、ケアプラン、利用者様の状況表、介護内容チェック表等を作成し反映させている。状況に応じて内容の変更等を実施している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望休をシフトに反映させ、業務に対してストレスを溜めないようかつ、業務に対して向上心を持っていけるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個別面接を実施し職員個々の得手不得手を把握し、指導、アドバイスを実施するよう努めている。職員のユニット化を実施しどちらのユニットが良いか判断し配置するなど働きながら育成することを進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設外研修に参加させていただき、他事業所の現場においての意見交換を参考にしサービスの向上に取り組んでいる。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	基本情報を理解し、アセスメント、施設内の担当者会議を通して少しずつ距離感を縮めていき安心感のある居場所であるように働きかけに努めている。		
		○初期に築く家族等との信頼関係			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学や契約の際にご家族の立場を理解し、悲しみ、苦しみ、悩みを共有するように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者様にもし何かあった場合を想定して医療機関や当法人の事業所との連携を密にするよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様の状態が厳しくなっている状況の中介助に苦慮する面もあるが介護内容チェック表を作成できることを見つけご本人の喜びにつなげ暮らしを共にする関係を築くようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	施設を自宅としてとらえ、ご家族が出入りを遠慮されないよう努めている。ご一緒にお茶を飲んでいただいたりご家族の方にも楽しんでいただけるよう努め共に支えていく関係を築くようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	法人行事、施設行事を通じて利用者様のご家族、友人知人、地域の方々にも来園していただけるように努めている。		
		○利用者同士の関係の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共有スペースで少数で関わっていただき、隣近所のような関係を大切にしていこうに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	行事などを通じて、常に関わりを大切にしてい、相談や支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	何かあれば、担当者会議、施設内会議を実施し検討している。3ヶ月ごとの利用者状況表の変更の有無も実施し検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者様との会話やご家族からの情報を職員で共有するとともに、生活環境、生活暦の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎月の現状報告書の作成をすることによって利用者様の抱える問題などを分析し現状の把握に努めている。		
		○チームでつくる介護計画とモニタリング	困難な場合においてもあきらめずに実施		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	することからはじめていき、利用者様に応じた対応を発見していき、プランに反映させている。職員配置のユニット化により話し合いの時間をタイムリーに持てるよう努めプランを作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録の他、担当者会議、施設内会議、ヒヤリハットでの情報を共有し、現状のサービス内容の見直しを実施している。できることを介護内容チェック表にすることができることのないことの把握に努め、介護計画の見直しに反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご家族との連携や会話を大切にし、職員主導ではなく一緒に支えあっていけるよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	隣接する保育園の園児さんとの触れ合いや行事に参加することにより、生活のメリハリを持っていただき楽しく生活を送っていただくように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	利用者様が入所されるまで行かれていた病院や地域の主治医の週1回の往診、電話連絡等により、充実した医療の支援に努めている。		
		○看護職員との協働			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	健康チェックの他、身体状況について把握し気づきなどを伝えて、対応については看護師の指示のもと対応し、個々の利用者様に合わせるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の主治医と病院との連携をご家族と協議し、万が一に備えて関係作りを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療分野以外は、当施設において出来る限りの支援を検討し、医療行為が必要になった場合には入院先または他の選択をご家族、地域関係者とともに取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	夜間帯の急変を想定し、当施設だけでなく隣接する施設職員との連携を取れるよう訓練している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	隣接する保育園、グループホームとも共同で月1回の避難訓練を実施し常日頃から危機管理を心かけている。夜間の避難訓練も年3回実施している。		

#### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

		○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保			
--	--	------------------------	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言葉遣い、声掛けのしかたはもとより、その際の表情も大切にしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人からの訴えがあれば否定せずできるように対応、またはご家族からの間接的要望を聞き、自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のペースより、行事等で時間的な問題により事業所側のペースになりがちであるが参加、不参加は利用者様の希望に沿って個々に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	普段は利用者様の好み等もあり任せている。行事で外出する場合はその行事に合わせた身だしなみ、整容を実施している。ご家族との外出においてはご家族様好みの対応をしている。ご家族様が外出の服等を持参されることもあり、おしゃれができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	徐々に出来る事が少なくなってきた状況である中、食事の準備、片付けにおいては出来る範囲で手伝いをして頂いている。		
		○栄養摂取や水分確保の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	給食室から提供されることによりカロリー、バランスについては管理されている。水分量についてはひとりひとり、職員が把握し少ない方には摂取して頂くように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	訪問歯科、看護師と連携し口腔ケアを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	オムツにたよらないように必要な方には、時間を決めてトイレ誘導を行なうなどトイレでの排泄、排泄の自立に向けての支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	自然なお通じができるよう、毎日乳製品の摂取や、運動をして頂くよう取り組んでいる。テレビ体操の実施や個別対応による運動を行い予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	事業所側のペースになりがちではあるが時間的な希望等を考慮し極力、利用者様のペースに合わせている。看護師の助言が必要な方は看護師の指示などで入浴を行い個々に応じた入浴支援をしている。		
		○安眠や休息の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様のペースで就寝していただいている。昼夜逆転にならないよう、日中は無理の無いよう運動やレクリエーションを実施し、夜間安眠できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬マニュアルに従い確認を徹底し、看護師と連携をとりつつ服薬事故の無いよう努め、利用者様の変化にも注意するよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	レクリエーションを実施することで集団での楽しみが個人の楽しみにつながっている。利用者様個人の楽しみも取り入れていく支援も必要性もあり個別の対応などの支援も行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	施設でイベント企画を立て外出できるように努めている。また隣接する保育園の園児さんとの交流も増え外出する機会が増えている。外出の際にはご家族様の協力も得て支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	原則、金銭に関してはご家族が管理されている。		
		○電話や手紙の支援	利用者様自身の希望と、施設は市営所		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	利用者様自身の要望があつた際は事業所の電話を利用していただき支援している。携帯電話を所持されている利用者の方もいっしょに、見守りの中支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者様と職員とで季節を感じていただける物を作成し廊下、入口等に展示を実施している。所々に花を飾ったり工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファ、テーブルの配置を考慮しながらくつろげる空間作りを工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様の協力を得て、使い慣れたものや、プレゼント、花などを置き安全に考慮しながら居心地の良い居室作りをしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全確保に努め、必要な箇所は養生をしたりしながら、行動の制限をしないよう努めるように工夫している。		

V アウトカム項目(2ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム光明牛田新町

作成日 平成 26 年 12 月 29 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	60	行事以外の日常的な外出, 散歩の支援ができていない。	利用者個々の要望を確認し, 日常的な外出の支援に努める。	・ケアプランに外出, 散歩の支援を取り入れる。 ・状況により散歩が難しい時は, ドライブで柔軟に対応する。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。